

# 「電力需給のためには多少の危険に目をつぶれ」は原発では許されない

与党の一部は、「電力需給のためには、多少の危険には目をつぶれ」と再稼働を迫っています。しかし、安全と電力供給は切り離して議論すべきです。国民の安全こそ最優先。双方を天秤（てんびん）にかけるよ

うなことは、「異質の危険」を持つ原発に関しては絶対にしてはなりません。

## 日本共産党

### 大飯再稼働 安全は「ないない」づくし

#### 事故原因の究明はまだ

福島原発事故の原因は、究明途中。原子炉建屋内は放射線量が大きく、詳しい状況を調

べることさえ困難です。

事故原因も分からないまま地震・津波大国の日本で再稼働するなど許されません。

#### 安全確保・避難計画なし

政府の再稼働基準は、すでに実施済みか、計画だけでよいものばかり。大飯原発の50

キロ圏には約45万人が住んでいますが、避難計画すら立っていません。

#### 独立の規制機関なし

原子力安全・保安院、原子力安全委員会は福島事故の「A級戦犯」。原発の規制機関を担う資格はありません。

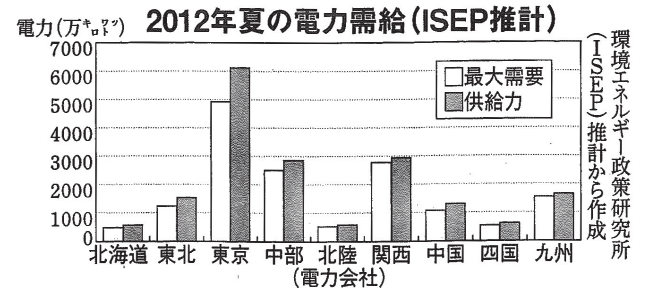
原発を運転するなら、独立性の高い規制機関が最低必要です。規制庁も発足していないのに再稼働を進めるなど異常です。



大飯原発3、4号機  
(滋賀民報社提供)

## 原発なしでも余力

政府「不足」に民間機関「過大な需要見積もり」



政府は原発の再稼働がなければ今夏、全国で0.4%の電力不足が生じるとの推計を発表しました。これに対し、環境エネルギー政策研究所 (ISEP、飯田哲也所長) は、政府推計は「過大に見積もった需要を固定視している」と批判。

#### 関電も電力確保できる

昨年並みの節電を行い、発電設備を再点検して供給力を見直せば、全原発が停止したままでも電力ピーク時に全国で16%以上の余裕を確保できると推計しました。

関電でも、節電と他電力からの融通、自家発電調達など約150万キロワットの追加対策があればピーク時の電力を確保できるとしています。



### 大阪・橋下市長 理不尽な選択迫る

#### 「再稼働」か「我慢と負担増」か

橋下徹大阪市長は、大飯原発3、4号機の再稼働をめぐり、「再稼働か、住民の負担増か」という理不尽な二者択一を関西住民に突きつけています。

関西広域連合の会合で、「原発の再稼働を認めなければ (府県民には) 応分の負担

がある」とのべ、節電に取り組む企業などへの奨励金の財源として住民に「1カ月1千円とか」の新たな税を課すことを提案しました。

橋下氏は「(ライフスタイルの変更を) 我慢できるか。無理だったら再稼働しかない」と住民を脅しています。